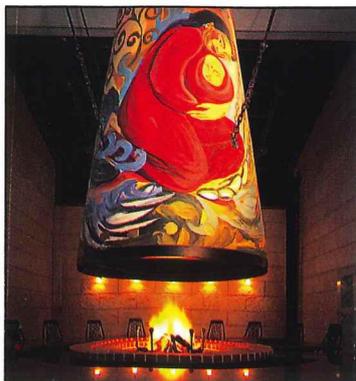


小豆飯

あずき
めし

水を張った田んぼに
青々とした苗が
まっすぐに植えられ
ツバメが宙を切る
今日はサナボリ
芝居がはじまるで
今年も豊作でありますように
田の神様よろしくお願ひします



お二人の至福のスタートは
新しい波“ヌーベルヴァーク”に乗って…

従来の挙式、祝宴のスタイルだけでなく、
お二人らしいこだわりや、出石という歴史と神話の町を
ステージにした思い出深いウェディング…
「特別な一日だからこそ、できるかぎりのプランと
サービスでお手伝ひしたい」

出石グランドホテルは幸せのスタートに
新しい感動を咲かせたいのです。

● 5周年アニバーサリープラン 40名様 1,000,000円
お一人様追加ごとに20,000円 税金、サービス料を含みます

IZUSHI GRAND HOTEL



●ご予約・お問い合わせは

出石グランドホテル

〒668-0263 兵庫県出石郡出石町福住450番地
Phone 0796-53-1111 (代)



田植えも様変わりし、機械植えがほとんどになりました。しかし、米をつくる人々の米に対する気持ちは変わらないと思います。大きく育てと心を込めて植えていきます。



山々に新芽が萌え出る季節、春の息吹を感じるころ、しろかきをする人々の姿がちらほらと、田植えの準備が始まります。昔から田植えは私たちの生活を支えてくれる米を植える

大切な農作業。今では機械化が進み、田植えも様変わりしましたが、田植えじまいの休みの日を「サナボリ」という言葉やしきたりは今も残っています。城崎郡、美方郡では同じ意味で「シロメテ」という言葉が使われています。

「サナボリ」というのは、田植えの終わる日に田の神が田植えの終了を見届けて、帰り上る日であるといわれるところから「サ・ノボリ」という言葉になったといわれています。「サ」は農神、田の神のこと。「サナボリ」は「サノボリ」を使っているうちに変化したものと思われれます。

「シロメテ」は「シロカキ」などの「シロ」と同義で田植えを指し、「ミテ」は完了の意味を示す動詞「ミテル」が名詞化したものであろうといわれています。

どちらにしても、田植えの終わりを祝い、豊作を願う大切な日なのです。神社からいただいた杉などを田植えの終わった田んぼのあぜに差し、小豆飯や赤飯を握り飯にして、お供えしたところが多いようです。地域によっては、まぜごはんやエンドウ飯、サバ寿司、餅、うどんなどをつかったところもあったとか。

また、「サナボリ」は農家の休息の意味もありました。昔は旅芝居の一

団がやってきて、お宮さんの舞台で芝居を披露しました。村中の人々がお弁当を持って集まり、芝居を楽しみました。テレビなどなかった時代、人々はこの芝居をどんなにか楽しみをしていたことがうかがわれます。たいへんだった田植えを終えて、みんなでご苦労さん会をやり、また明日からがんばろうと意欲を新たにしたいでしょうね。

時が経つごとに、芝居は姿を消し、後に食事会や旅行を楽しんだりする地域もあつたようですが、現在にはないところが多いようです。

田植えが終わってほっとする休日に、昔を少し偲んで小豆飯のおにぎりなどはいかがでしょうか。お祝い事があるたびに、赤飯をつくられるお家も多いかと思いますが、小豆飯はあまり見かけなくなりました。

小豆を腹を割らない程度に煮ておき、ご飯を炊くとき、小豆の煮汁も一緒に入れて炊けばできあがり。小豆を入れるときに、少々塩もお忘れなく。なつかしいお袋の味です。

今年も田植えが始まります。豊作でありますようにと祈りながら、風になびく青々とした苗を眺め、豊かな時代に感謝したいと思います。

資料：兵庫探検(民俗編)

年中行事図説

民俗学事典

ピーターパン子ども基金のご紹介

「ピーターパン」の作者ジェームズ・バリーは1929年、この作品から生じるすべての権利をロンドンの小児病院に寄付しました。基金はここに端を発し、後に英国とアメリカ、カナダで財団が作られました。日本では1993年、(財)日本児童家庭文化協会内に日本「ピーターパン子ども基金」が設立され、同協会がその運営にあたりています。



ほくしんは、『ピーターパン子ども基金』を応援しています。



あったかいね このカード

『ほくしんキャッシュカード』は全国どこでも無料でご利用いただけます。

●詳細は窓口でお気軽にご確認ください



青い空、あおい海・人・ふれあい

北兵庫信用組合

本店・城崎郡香住町香住 支店・浜坂・村岡・豊岡・湯村・出石・日高・八鹿・和田山・香住駅前